

「平成30年度第1回徳島市地域公共交通活性化協議会」
会議録（要約）

平成31年2月5日（火）
午後2時～3時
徳島市役所 本庁舎8階 庁議室

欠席者 3人、傍聴者 0人

1 開 会

2 あいさつ
(豊井第二副市長)

3 出席者・事務局紹介

4 協議会設置要綱の説明

(事務局)

協議会設置要綱について説明（資料1）

(司 会)

ただいま説明のありました内容につきまして、ご意見・ご質問などもないようですので、案のとおり、ご承認いただいでよろしいでしょうか。

(会 場)

異議なし

(司 会)

設置要綱のご承認をいただきましたので、ここに「徳島市地域公共交通活性化協議会」を設置します。

委嘱状の交付、会議成立の報告（委員 19 人のうち、16 人出席）

互選により、会長に奥嶋委員を選出、会長あいさつ

奥嶋会長が副会長に豊井委員を指名、副会長あいさつ

5 協議事項

協議事項については、設置要綱第 6 条第 1 項に基づき会長が議長となり、議事進行を執り行う。

（会 長）

それでは、事務局に替わりまして、議事を進行いたします。

はじめに、協議事項（1）の徳島市地域公共交通網形成計画の策定について、事務局から説明してください。

（事 務 局）

徳島市地域公共交通網形成計画の策定について説明（資料 2）

（会 長）

ただいま説明のありました内容につきまして、ご質問・ご意見はございませんか。

（委 員）

交通局は、平成 40 年度末を目途に廃止という方針を出している。

平成 23 年度から交通局の路線を市長部局に移行し、徳島バスに運行委託をしている。

交通局を廃止するといっても、市営バス路線がなくなるのではない。市バス路線は維持・確保していくことになる。

（会 長）

続きまして、協議事項（2）の計画策定スケジュールについて、事務局から説明してください。

（事 務 局）

計画策定スケジュールについて説明（資料 3）

（会 長）

ただいま説明のありました内容につきまして、ご質問・ご意見はございませんか。

(委 員)

平成31年8月から9月にかけて調査を実施する予定になっている。国土交通省が事務局をしている徳島地区渋滞対策推進協議会において、いろいろな交通渋滞対策に取り組んでおり、連携して調査できると良い。

(事務局)

連携できるところは連携してやっていきたいと考えている。アンケート調査を実施する前には、事前にご相談させていただきたい。

(委 員)

立地適正化計画と網形成計画はどう関係するのか。立地適正化計画に設定された誘導施設へのアクセス・連絡をよくすることなのか。

(委 員)

コンパクトシティは漠然としていて大枠がつかみにくい。立地適正化計画と網形成計画はどう連携していくのか。

(事務局)

立地適正化計画と網形成計画は、「車の両輪」と言われる。公共交通ネットワークの利便性を高め、コンパクトシティを公共交通の面で支えていきたい。

(委 員)

バス停や鉄道駅を起点にしていくということか。

(会 長)

平成31年3月に徳島市立地適正化計画が策定される。まちづくりについては、立地適正化計画が担い、網形成計画は、公共交通をどうしていくかということになる。

(委 員)

コミュニティバスなども含めて検討していくのか。

(会 長)

応神ふれあいバスのようなコミュニティバスも含め、検討していく。

阿波市地域公共交通網形成計画の取り組み施策の中には、デマンドタクシー（デマンド型乗合交通）が入っている。徳島市の特性に合ったもので、計画に盛り込めるような内容であれば、含めていくことになる。

(会 長)

続きまして、協議事項（３）の地域公共交通調査事業について、事務局から説明してください。

(事 務 局)

地域公共交通調査事業について説明（資料４）

(委 員)

アンケート調査の方法や場所などについて教えてほしい。

(事 務 局)

郵送によるアンケート調査のほか、徳島駅・蔵本駅・府中駅や駅前バス乗り場などで聞き取り調査を実施したいと考えている。

(委 員)

市民・利用者が公共交通がどのようになってほしいかを把握するため、アンケート調査は重要である。アンケート調査の中身について、意見を述べる場を設けてほしい。

(事 務 局)

アンケート調査の実施内容については、当協議会において、実施前に協議していただく予定としている。

(委 員)

アンケート調査に関して、回収率を上げることも大事だが、「公共交通がないよりはあれば便利」ということではなく、コスト意識を聞くような質問があると良い。

(委 員)

これまでに実施したアンケート調査の実績も引き継いでもらいたい。

徳島以外から来る人にとっては、ＩＣカードが重要である。今回の計画期間で「導入できる、できない」について、提示してもらえればと思う。

(会 長)

ＩＣカードは、地域のみ利用に比べ、全国利用できるようにするとコストが高くなる。ＩＣカードはＪＲ四国さんも未導入である。どこまでカバーできるかも含めて検討していきたい。検討の結果、何かお示しできればと思っている。

(委 員)

アンケート調査は、高齢者については、聞き取り調査なども考慮に入れてほしい。バスの利用は高齢者が多いので、実際に利用している人の感覚を聞き取ってもらいたい。

(会 長)

阿波市は、老人クラブを通じてアンケート調査をしたと聞いている。

(副 会 長)

県内の先行事例である、小松島市や阿波市などの例を参考にしながら、実施したい。

(会 長)

本日の議事はすべて終了しましたので、事務局に進行をお返しします。

委員の皆さんには、議事の円滑な進行にご協力いただきありがとうございました。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

6 閉 会

以 上